



2023年1月19日(木)

第62期（2023年3月期） 第3四半期決算説明会

(2022年4月1日～2022年12月31日)

代表取締役社長
取締役

最高経営責任者（CEO）
管理本部長

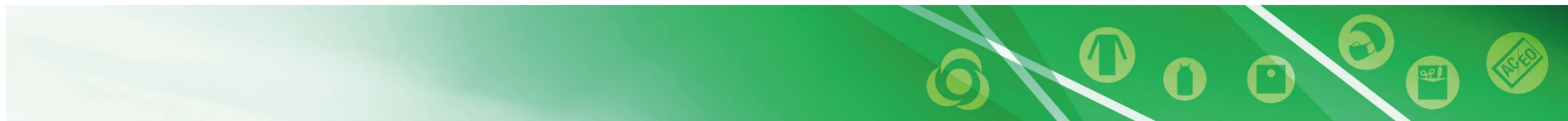
保木 潤一
川久保 秀樹

HOGY MEDICAL Co., Ltd.



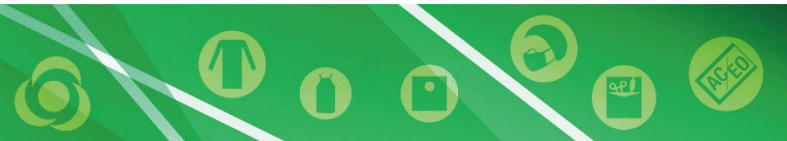
この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。



業績の概要

第62期（2023年3月期）第3四半期 損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	21.12 61期3Q実績		22.12 62期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	27,810		29,535		1,724	106.2%
営業利益	4,802	17.3%	5,064	17.1%	261	105.5%
経常利益	5,072	18.2%	5,226	17.7%	154	103.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,692	13.3%	3,710	12.6%	17	100.5%
EPS	126.27円		152.97円			

増収増益

売上高：増収

：プレミアムキットとその他の不織布製品の販売が好調

営業利益：増益

：為替影響等により原価率は上昇したが、増収と経費節減で増益を確保

原価

：59.4%(前年比+1.7pt)

：円安の影響により原価上昇(+6.9億)

：原材料費・光熱費等のコスト上昇(+3.4億)

：一過性要因(棚卸資産除却・子会社の会計処理の変更)(+2.0億)

：値上げ、製品ミックス(△2.4億)

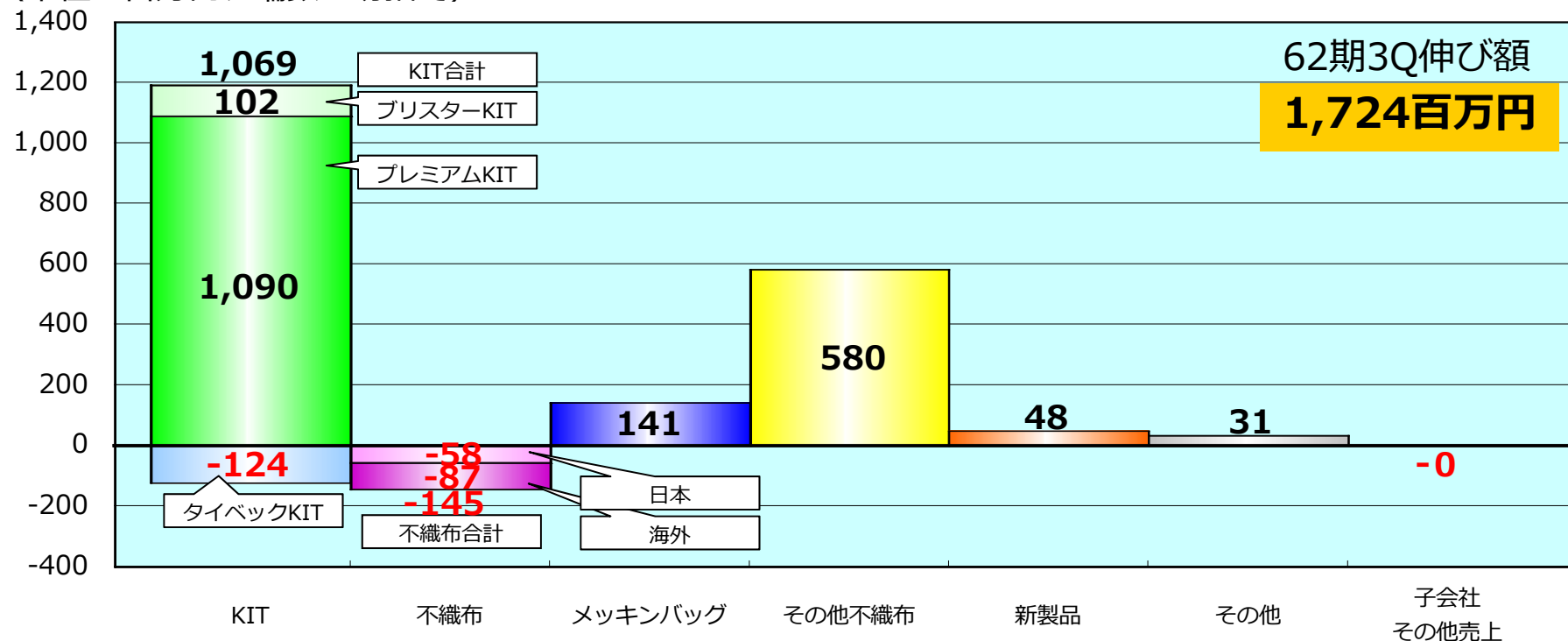
：償却費の減少(△2.3億)

販売管理費：△43百万円(0.6%減)

：償却費、試験研究費の減少

第62期（2023年3月期）第3四半期 主な製品の売上高伸び額

(単位：百万円、端数：切捨て)

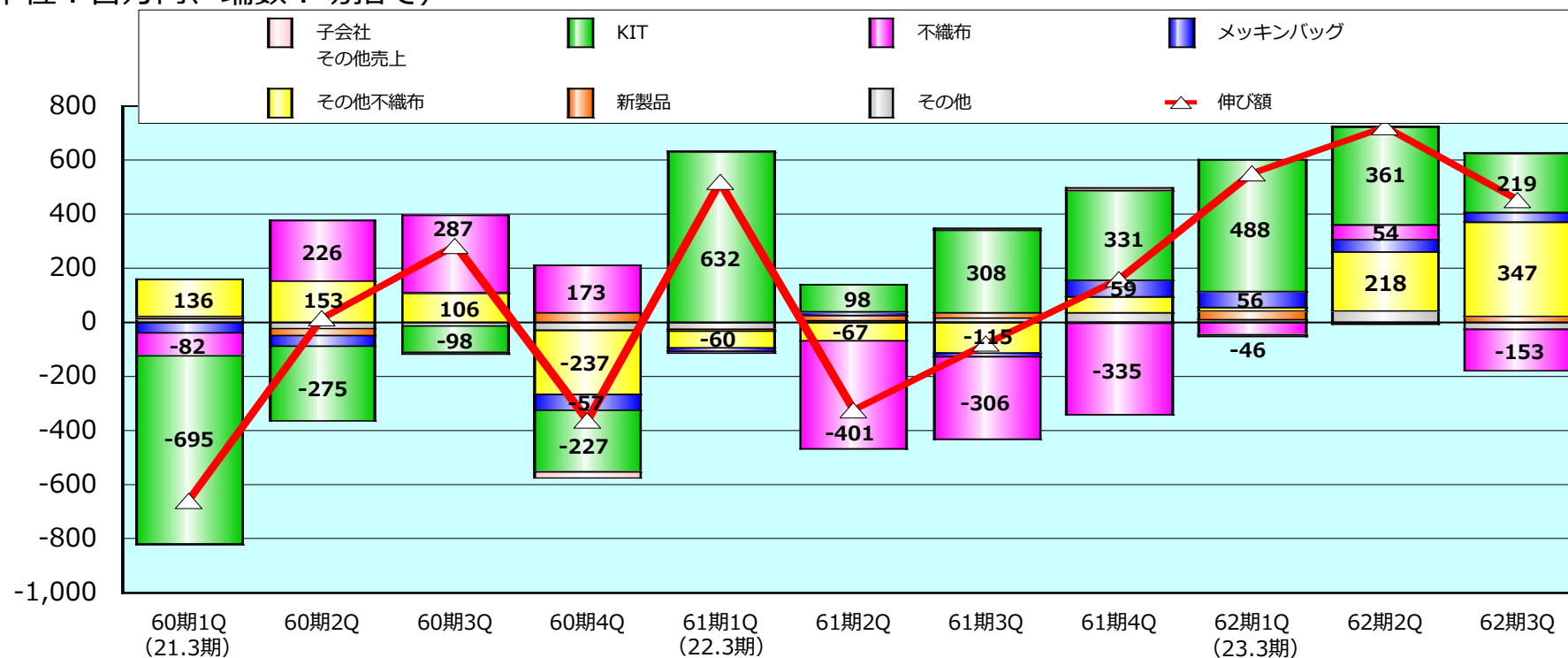


- ・ **プレミアムキットは販売に注力した結果、新規獲得により前年比19.1%増加**
- ・ タイベックキットのマイナスはプレミアムキットへの置換が主な要因
- ・ 不織布製品は、10月より一部製品で値上げを実施し、販売数量が減少
- ・ その他不織布製品
 - ✓ 医療機関にて感染防止の対策が確立され使用数量が増加（感染防止関連製品）
 - ✓ 新型コロナウイルスによる特需等の影響で増加
 - ✓ 当社供給量の増加、及び他社供給不安により需要が増加（N95マスクを中心とした感染防止関連製品）

* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「プリスターキット」の合算を記載しております

第62期（2023年3月期）第3四半期 四半期別売上高伸び額の内訳

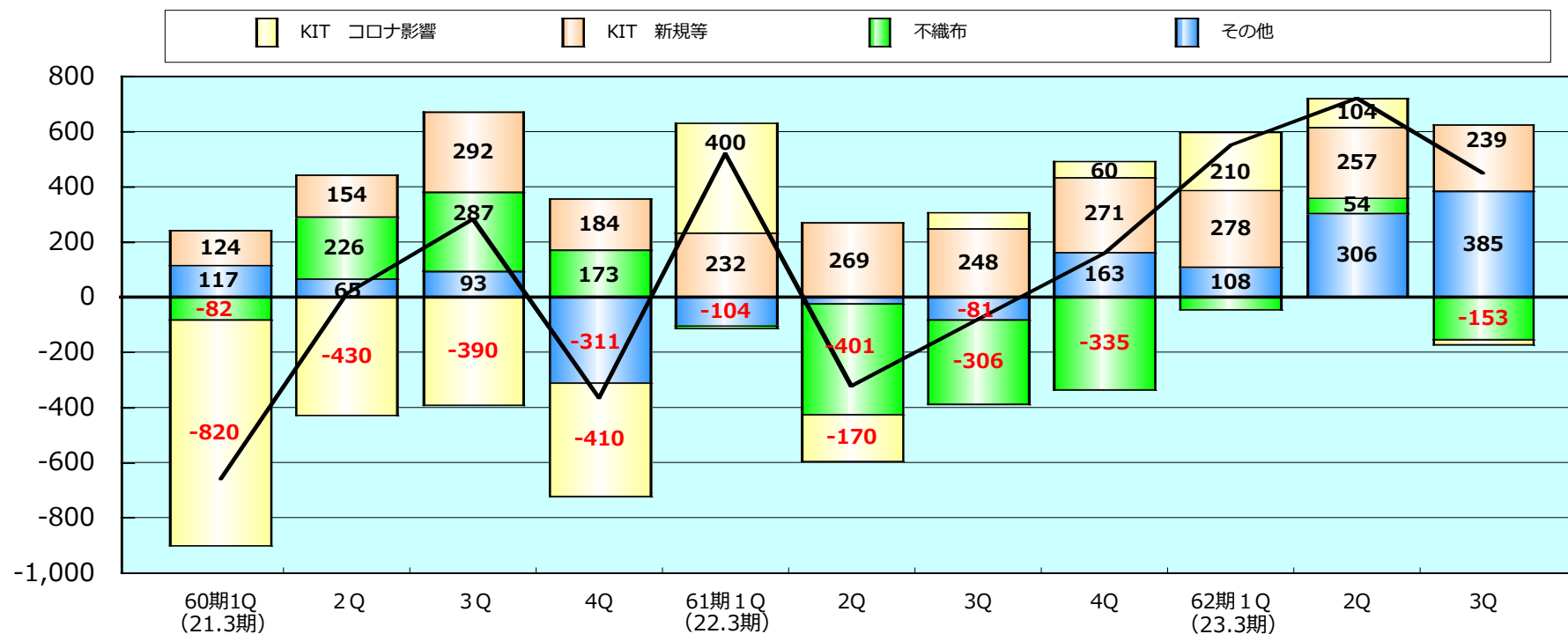
(単位：百万円、端数：切捨て)



- ・キット製品はプレミアムキットを中心とした新規獲得により増収
- ・キット製品は第3四半期において、新型コロナウイルスの影響によりオペラマスター契約消費先を中心に売上高減少
- ・その他不織布製品は、新型コロナウイルスと他社要因の影響により需要が増加
- ・不織布製品は、10月からの一部製品の値上げにより販売数量が減少（第2四半期にて値上げ前 買込みが発生）

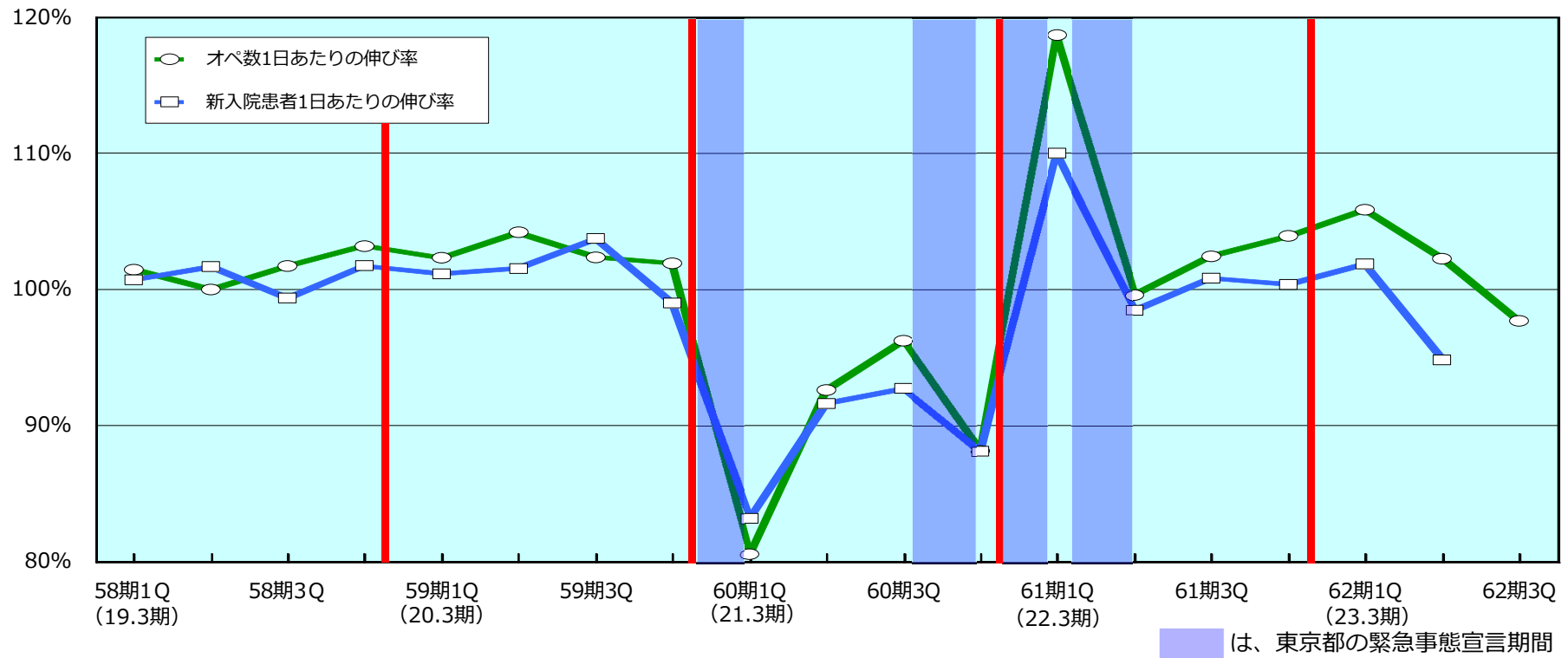
四半期別 伸びの内訳

(単位：百万円、端数：切捨て)

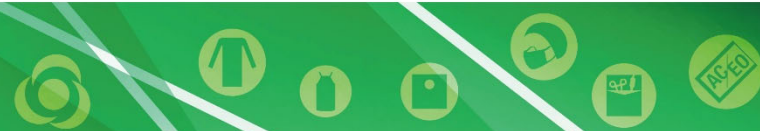


	60期1Q	2Q	3Q	4Q	61期1Q	2Q	3Q	4Q	62期1Q	2Q	3Q
KIT コロナ影響等	-820	-430	-390	-410	400	-170	60	60	210	104	-20
KIT 新規等	124	154	292	184	232	269	248	271	278	257	239
KIT 合計	-696	-276	-98	-227	632	99	308	331	488	361	219
不織布	-82	226	287	173	-9	-401	-306	-335	-46	54	-153
その他	117	65	93	-311	-104	-23	-81	163	108	306	385
総額	-661	15	282	-365	519	-325	-79	159	551	721	451

オペラマスター病院 手術件数の伸び率と 新入院患者の伸び率/日



- ・ 医療機関によって手術件数の回復傾向に差があり 2 極化が進む
- ・ 第7波、第8波により一部病院にて手術件数が抑制



■ 市場環境

- ✓ 感染者数に応じて医療機関の負担は増減を繰り返す
→以前と比べ**手術件数への影響は軽微に**
- ✓ **医療従事者の人手不足は常態化**
- ✓ コロナ禍において手術件数を増加させ経営改善に取り組む医療機関との2極化が進む
- ✓ 医療機関での**機能分化が促進**（急性期充実体制加算の導入）

■ 決算のポイント

- ✓ 新規獲得によりプレミアムキットの売上高増加（前年比19.1%増）
- ✓ その他不織布製品は、新型コロナと他社要因によって需要が増加
- ✓ ガウン製品以外についても為替影響の受ける製品を順次値上げ実施予定
- ✓ **円安の影響により原価が上昇（為替予約による効果で第1四半期は影響が軽微）**
- ✓ 原材料、運搬費、光熱費の上昇
- ✓ 7月取得予定であった新工場2期設備稼働は、工事遅れや社内調整により遅延
- ✓ 第3四半期配当と期末配当の増配を決定（17.5円⇒18.0円）



第62期（2023年3月期）経営計画

第62期（2023年3月期） 損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	22.3 61期実績		23.3 62期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,778		38,720		1,941	105.3%
営業利益	6,135	16.7%	6,510	16.8%	374	106.1%
経常利益	6,285	17.1%	6,570	17.0%	284	104.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,370	11.9%	4,570	11.8%	199	104.6%
EPS	153.00円		188.40円			

■増収増益計画

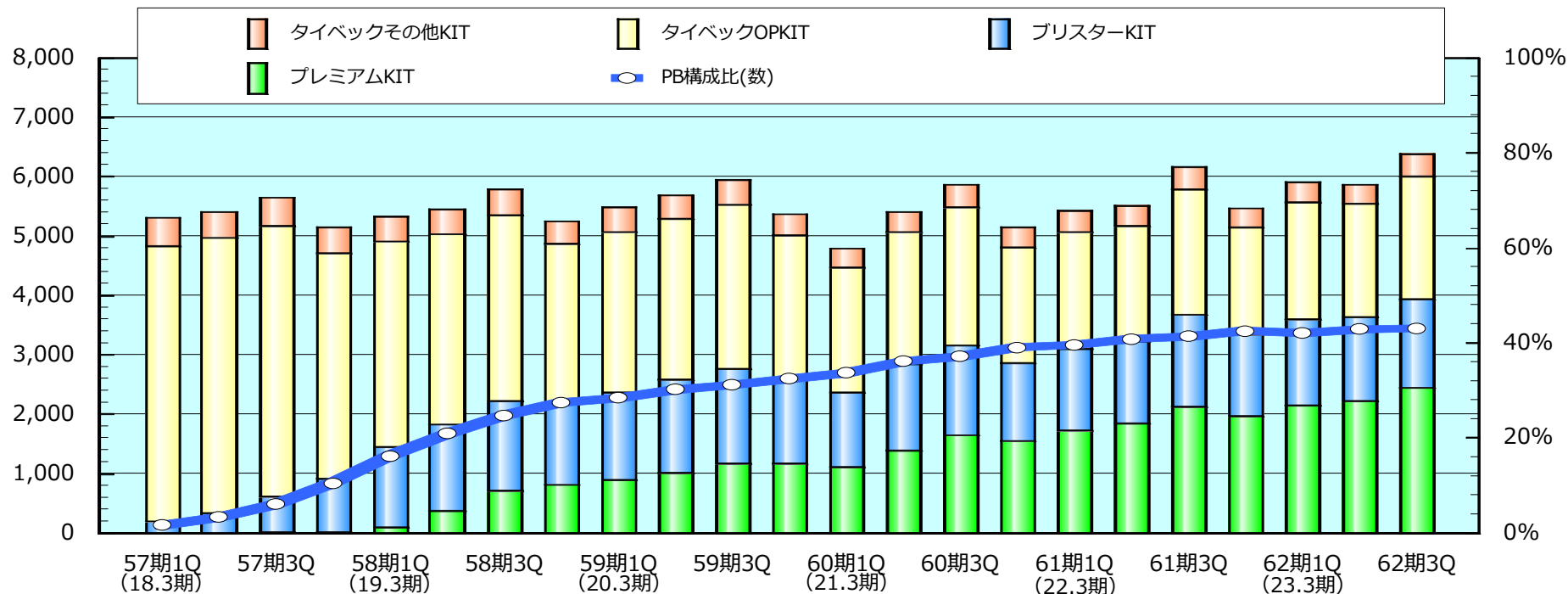
- 売上高 : プレミアムキット新規獲得、その他製品の影響により増収
- 原価 : 急激な円安、原材料・資材価格・光熱費・輸送費の高騰により原価率上昇
: 新工場2期設備を4月取得予定
: 一部製品の値上げを10月より実施、今後も為替影響の受ける製品を順次値上げ実施予定
- 販売管理費 : 営業活動促進に関わる費用に集中



実績の詳細

キット製品 売上高推移

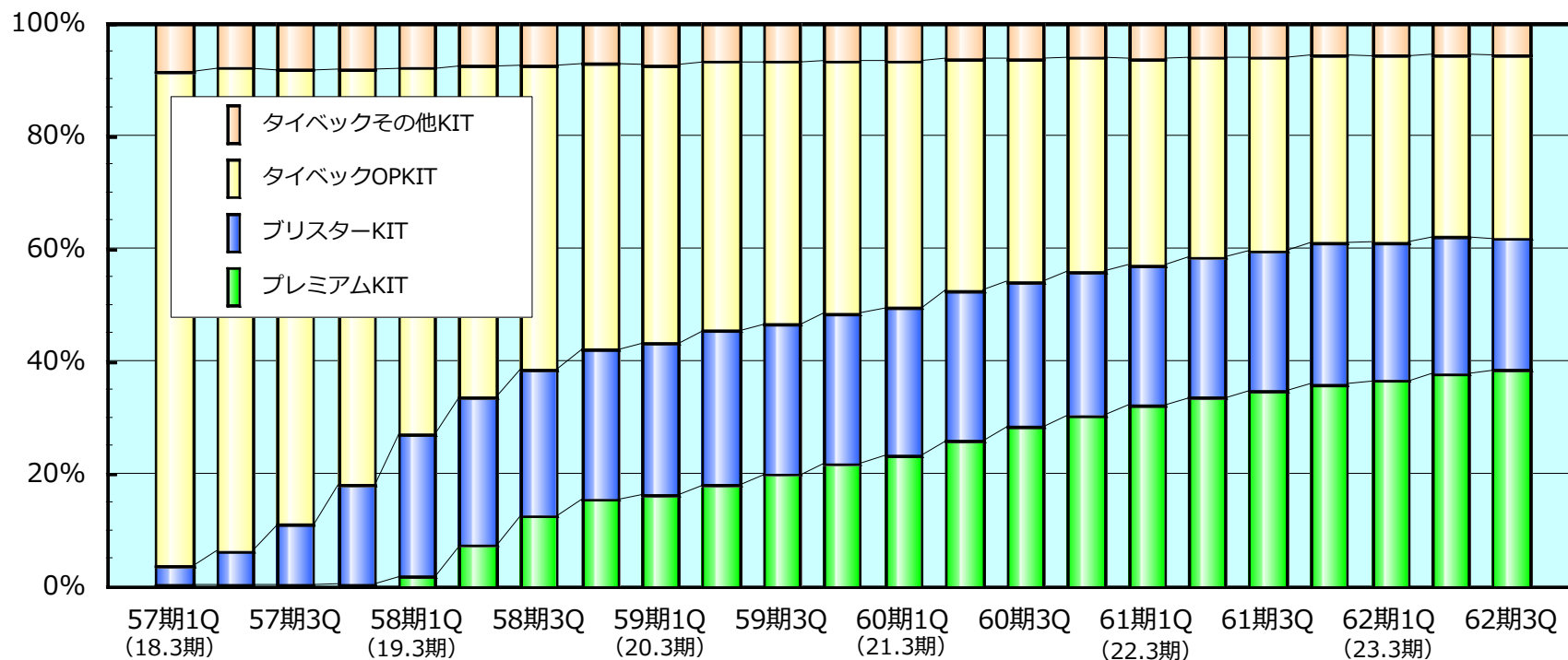
(単位：百万円、端数：切捨て)



* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「プリスターキット」の合算を記載しております

- ・プレミアムキットの販売に注力した結果、プレミアムキットとプリスターキット合計の数量構成比は4割を超過
- ・62期第3四半期 前年同期比
 - ✓ プレミアム、プリスター：+265百万円、107.2%
 - ✓ タイバックキット：△46百万円、98.1%

キット製品 販売構成比 推移



* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「ブリストーキット」の合算を記載しております

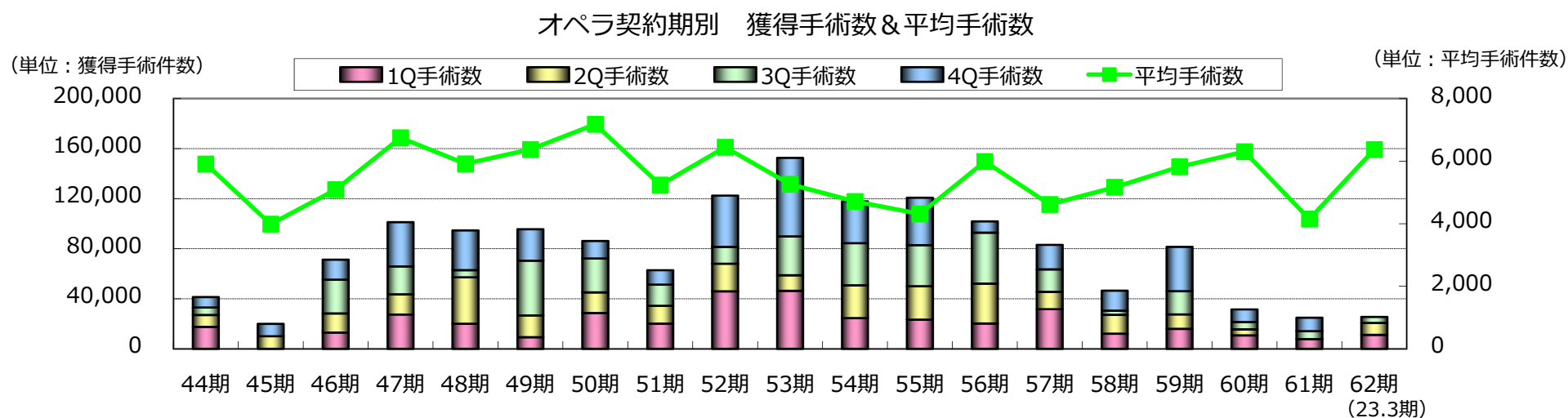
- ・タイベックOPキットの割合が減少し、プレミアムキットとブリストーキットの売上高が伸長し割合が増加

オペラマスター契約病院の手術数推移

売上高 (KIT製品) : 12,114百万円 (前年比 709百万円 : 106.2%)

62期契約施設数 : 新規 4施設、解約 2施設

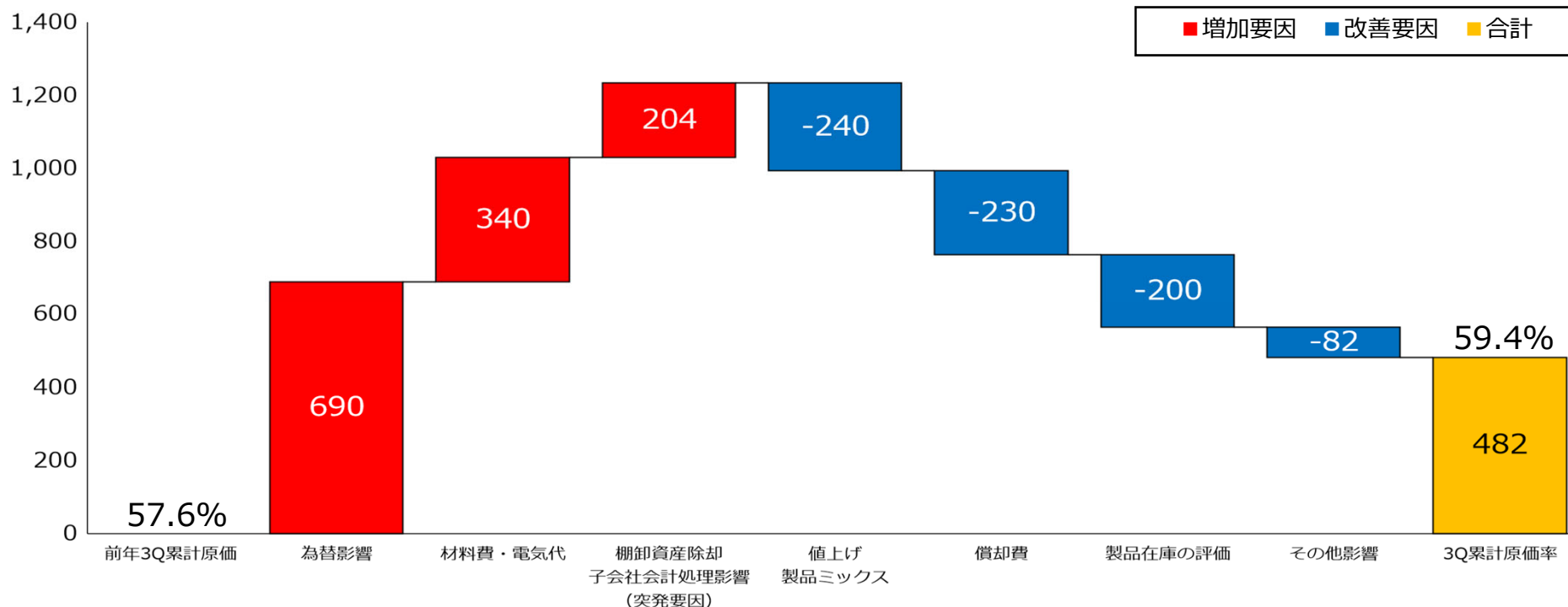
累計契約施設数 : 270施設



- ・ 62期新規契約病院4件 (DPC特定病院群 (旧Ⅱ群) : 4件)
- ・ 62期新規契約病院の1病院当たり平均手術数は6,375件
- ・ オペラマスター契約は患者が集中する大病院に注力

原価率 主な増減要因

(単位：百万円、端数：切捨て)



- 第1四半期 : 在庫製品の評価影響、円安影響は為替予約の効果で軽微
- 第2四半期 : 円安影響、一過性要因（棚卸資産除却・子会社の会計処理の変更）
- 第3四半期 : 円安影響、値上げや製品ミックスの影響で一部改善
- 通年 : 電気代、光熱費、原材料の高騰

第3四半期累計の償却合計 : 2,740百万円 (前年比 : 331百万円減)
 ・ 原価 : 2,234百万円 (前年比 : 230百万円減)
 ・ 販管費 : 506百万円 (前年比 : 101百万円減)

第62期（2023年3月期）第3四半期 損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	21.12 61期3Q実績		22.12 62期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	27,810		29,535		1,724	106.2%
売上原価	16,032	57.6%	17,539	59.4%	1,506	109.4%
売上総利益	11,778	42.4%	11,996	40.6%	218	101.9%
販売費及び一般管理費	6,976	25.1%	6,932	23.5%	△43	99.4%
営業利益	4,802	17.3%	5,064	17.1%	261	105.5%
営業外損益	269		162		△107	
経常利益	5,072	18.2%	5,226	17.7%	154	103.0%
特別損益	0		△0		△0	
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,692	13.3%	3,710	12.6%	17	100.5%
E P S	126.27円		152.97円			

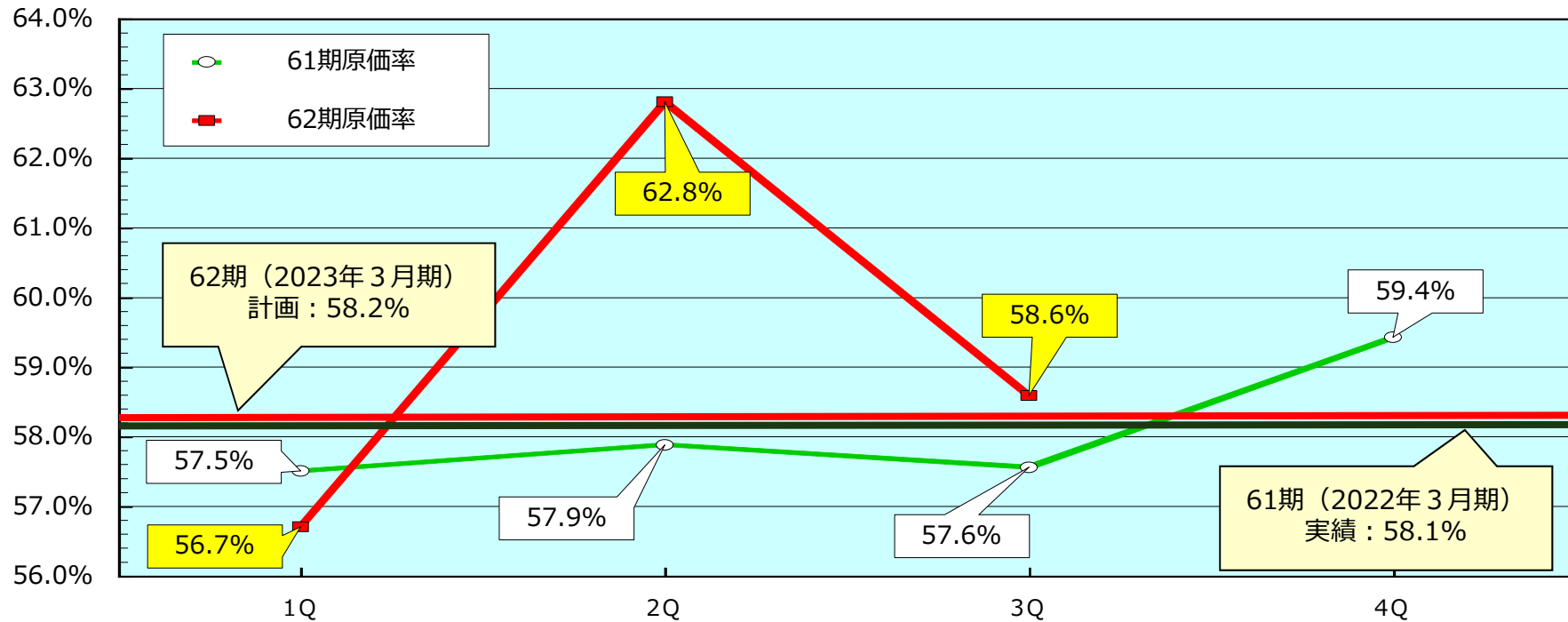
主な増減科目	前年比
荷造運搬費	50
人件費	35
旅費交通費	21
試験研究費	△44
減価償却費	△101

- ・販売管理費：6,932百万円(△43百万円)
 - ✓ 試験研究費：費用計上タイミングの影響
 - ✓ 荷造運搬費：売上増加および燃油サーチャージにより増加
 - ✓ 旅費交通費：営業活動増加の影響
- ・設備投資：748百万円



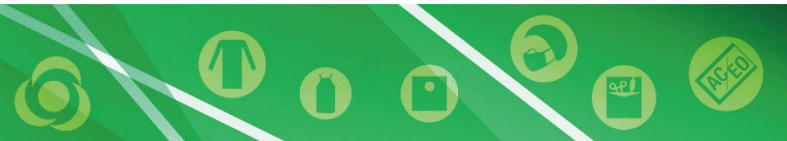
第62期（2023年3月期）経営計画

第62期（2023年3月期） 損益計算書



- ・円安により原価上昇（コーポレートレート：120円設定）
- ・償却合計：4,449百万円（前年比：334百万円増）
 - ・原価：3,590百万円（前年比：281百万円増）（*新工場稼働で6億円の増加込み）
 - ・販管費：859百万円（前年比：53百万円増）
- ・資材、光熱費、運搬費の上昇
- ・一部製品の値上げ実施

第62期（2023年3月期） 損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	22.3 61期実績		23.3 62期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,778		38,720		1,941	105.3%
売上原価	21,361	58.1%	22,540	58.2%	1,178	105.5%
売上総利益	15,416	41.9%	16,180	41.8%	763	105.0%
販売費及び一般管理費	9,281	25.2%	9,670	25.0%	388	104.2%
営業利益	6,135	16.7%	6,510	16.8%	374	106.1%
営業外損益	150		60		△90	
経常利益	6,285	17.1%	6,570	17.0%	284	104.5%
特別損益	0		-		△0	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,370	11.9%	4,570	11.8%	199	104.6%
E P S	153.00円		188.40円			

主な増減科目	前年比
見本費	62
減価償却費	53
荷造運搬費	47
試験研究費	41
旅費交通費	34

- ・販売管理費：9,670百万円(388百万円)
 - ✓ 旅費交通費・見本費：活動量の増加
- ・設備投資：2,520百万円(内新工場追加：1,410百万円)
- ・第3四半期配当と期末配当の増配を決定（それぞれ17.5円⇒18.0円）



2023年1月19日(木)

第62期（2023年3月期） 第3四半期決算説明会

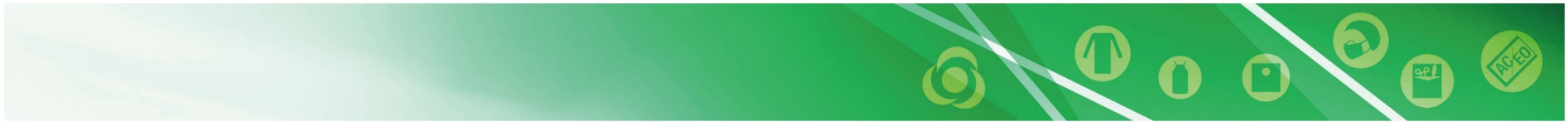
(2022年4月1日～2022年12月31日)

代表取締役社長
取締役

最高経営責任者（CEO）
管理本部長

保木 潤一
川久保 秀樹



HOGY MEDICAL Co., Ltd.



ご参考資料

各種キットの定義について



	プレミアムキット	ブリスターキット	タイベックキット (従来キット)
生産場所	新工場 (マルチ)		筑波、美浦
			
製品形状	手技に合わせて小分けの パッケージにマルチ包装		不織布で包み 滅菌バッグにて包装
安全性	自動化生産によるメリット (入れ間違い、異物混入大幅削減)		従来通り
基準	1症例に必要な材料の 80%以上	1症例に必要な材料の 80%~30%	使用材料の少ない症例 材料の30%未満